

2026 年 10 月 1 日

トビタテ！留学 JAPAN 第 2 ステージを 2028 年度まで 1 年延長！ 「新・日本代表プログラム」高校生等対象（第 12 期）及び 大学生等対象（第 19 期）の募集を開始します

文部科学省と独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）は、2013 年度から官民協働オールジャパンで若者の海外留学を後押しすべく、トビタテ！留学 JAPAN を実施しており、2023 年度からは、新たなビジョンを掲げ第 2 ステージとして実施しています。

このたび、2027 年度までの 5 年間としていた第 2 ステージの実施期間を 2028 年度まで 1 年延長することとし、第 2 ステージから実施している「新・日本代表プログラム」の高校生等対象（第 12 期）及び大学生等対象（第 19 期）の派遣留学生の募集を行います。

高校生等対象（第 12 期）は 600 名、大学生等対象（第 19 期）は 250 名を募集します。募集要項や説明会等の詳細は、「トビタテ！留学 JAPAN」公式ホームページをご覧ください。

新・日本代表プログラムの趣旨

- 将来「社会にイノベーションを起こすグローバル探究リーダー」（高校生等）や「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」（大学生等）として、日本の未来を創る人材の育成を行います。
- 民間企業等からの寄附を基に、5 年間で高校生等 4,000 名、大学生等 1,000 名の計 5,000 名以上の派遣を目指してきましたが、実施期間を 1 年延長することによりさらに多くの生徒・学生に経済的支援を中心とした留学支援を行い、留学機会を創出することを通じて、日本の留学機運醸成に貢献します。

高校生等を対象としたコース（第 12 期）

対象

日本の高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校（第 3 学年以下に限る。）及び専修学校の高等課程に在籍する日本人生徒等

募集コース及び募集人数

以下の 4 つのコースを設け、グローバルに活躍できる力の育成と、自らの経験を新しい留学文化の醸成に還元し、将来「社会にイノベーションを起こすグローバル探究リーダー」となる人材を輩出すると共に、「探究型留学」という新たな留学モデルの創出を行います。

■STEAM 探究コース

＜STEAM(科学・技術・工学・芸術・数学)領域における問いを設定した探究活動を含む留学計画や問いに対して、AI や IoT、理科や数学的な見方・考え方を活用しながら行う探究活動が含まれ、将来の進路選択に繋がる留学計画。＞

140 人

(うち第二日程(4月応募) 25人)

■スポーツ・芸術探究コース

＜実技経験や実績の有無にかかわらず、スポーツ、芸術分野における問いを設定し、当該分野の更なる発展に寄与することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。＞

120 人

(うち第二日程(4月応募) 20人)

■マイ好奇心探究コース

＜「知りたい」、「明らかにしたい」という自らの興味・関心に基づいた問いを設定し、「未知を既知」にすることや「疑問を解明」することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。＞

210 人

(うち第二日程(4月応募) 35人)

■社会課題探究コース

＜世界・日本・地域が抱える社会課題を自分ごととして考えた問いを設定し、課題解決や活性化、社会貢献に寄与することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。＞

130 人

(うち第二日程(4月応募) 20人)

※ 全てのコースにおいて、新高校1年生の応募が可能です。

※ 海外留学を経験したロールモデルが全国各地に必ずいる状態を創出していくため、「地域応援枠」を設けています。

各都道府県からの応募者が、第一日程で15人以上の場合は第一日程の応募者の上位5人(第一日程が15人未満で第二日程との合計が15人以上の場合は第二日程の応募者の上位2人)を優先して採用します。

※ 留学期間がロング(125日以上)の留学計画は、支援予定人数全体のうち20人程度を採用予定です。

応募期間

◆ 募集要項公開：2026年10月1日(木)

◆ 在籍校から機構への申請期間

第一日程：2026年12月上旬(予定)～2027年1月21日(木)

第二日程：2027年4月1日(木)～2027年4月21日(水)

※ 新高校2年生及び3年生は第一日程に応募

※ 新高校1年生は進学先の高等学校等に確認の上、第一日程又は第二日程のいずれかの日程に応募

対象となる留学期間

- ◆ 留学期間：留学先における活動期間が14日以上1年以内の留学計画が対象
※留学期間がロング(125日以上)の留学計画の場合、2029年1月31日(水)までに留学を終了する必要があります。
- ◆ 留学開始時期：2027年7月10日(土)～2028年3月31日(金)

支援内容

- ◆ 月額奨学金：120,000円または160,000円(留学先国・地域による)
- ◆ 留学準備金：アジア地域は150,000円、その他の地域は250,000円
 - ※ 月額奨学金は家計基準を超える場合、60,000円となります。
 - ※ 授業料は月額奨学金に含まれます。
 - ※ 留学準備金については、円安や物価高騰を鑑み、上記の支給金額に加えて「アジア地域」は60,000円、「その他の地域」は100,000円を増額して支給します。

大学生等を対象としたコース（第19期）

対象

日本の大学、大学院、短期大学、高等専門学校（第4学年以上で専攻科を含む。）、高等学校の専攻科、中等教育学校後期課程の専攻科、特別支援学校高等部の専攻科及び専修学校の専門課程に在籍する日本人学生等

募集コース及び募集人数

以下の3つのコースを設け、留学を通じて得たものを社会に還元し、将来「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」となる人材を輩出します。

■イノベーターコース

＜新たな価値を創造しようとする（ゼロをイチにする様な）挑戦的な留学計画＞
50人

■STEAMコース

＜技術革新や新産業創出に貢献するSTEAM領域における留学計画＞
100人

■ダイバーシティコース

＜スポーツ、芸術、総合知領域等の多様な領域の留学計画＞
100人

- ※ STEAMコースの1割程度[高等専門学校生]を採用予定です。
- ※ 新大学1年生についても募集します。

応募期間

- ◆ 募集要項公開：2026年10月1日（木）
- ◆ 在籍校から機構への申請期間：2026年12月上旬（予定）～2027年2月25日（木）17時
※新大学1年生は2027年4月1日（木）～2027年4月22日（木）17時

対象となる留学期間

- ◆ 留学期間：留学先における活動期間が28日以上1年以内の留学計画が対象（3か月以上を推奨）
※留学先国・地域における留学終了日は2029年1月31日（水）までの期間とし、2029年3月末までに開催される事後研修に参加できる計画である必要があります。
- ◆ 留学開始時期：2027年8月1日（日）～2028年3月31日（金）

支援内容

- ◆ 月額奨学金：120,000円または160,000円（留学先国・地域による）
- ◆ 留学準備金：アジア地域は150,000円、その他の地域は250,000円
- ◆ 授業料：300,000円（諸外国等の大学等における授業料）
 - ※ 月額奨学金は家計基準を超える場合、60,000円となります。
 - ※ 留学準備金については、円安や物価高騰を鑑み、上記の支給金額に加えて「アジア地域」は60,000円、「その他の地域」は100,000円を増額して支給します。

募集要項、応募申請、説明会日程等について

- ◆ 募集要項は2026年10月1日（木）以降、以下の「トビタテ！留学 JAPAN」公式ホームページ 新・日本代表プログラム紹介ページよりダウンロードできます。
- ◆ 応募申請は2026年12月上旬（予定）より、オンラインで受け付けます。
- ◆ 今後、募集説明会等を行います。
日程・申し込み方法等は新・日本代表プログラム紹介ページを御確認ください。
＜新・日本代表プログラム紹介ページ <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/newprogram/>>

応募に関する手続き等に係る問い合わせについて

- ◆ 応募希望者及び保護者の方は、在籍校の担当者を通じて機構へお問い合わせください。
- ◆ 機構への問い合わせについて、在籍校の担当者の方は、募集要項に記載の問い合わせ専用フォームよりお問い合わせください。

募集チラシ・ポスター情報はこちら（PDFダウンロード可）

<https://tobitate-mext.jasso.go.jp/download/>



支援企業・団体

◆ 110 社・団体 46.8 億円 [令和 8 年 9 月 1 日(火)現在]

※企業・団体からの御支援は、引き続き募集しています。

別添 1 :【高校生等対象】第 12 期派遣留学生募集要項

別添 2 :【大学生等対象】第 19 期派遣留学生募集要項

別添 3 : 支援企業・団体

<報道発表に関するお問合せ>

【高校生等(第 12 期)について】

官民協働海外留学創出プロジェクトチーム

総合教育政策局 国際教育課 国際理解教育係 (内線 3487)

独立行政法人日本学生支援機構 グローバル人材育成部

グローバル人材育成企画課 (内線 4938)

電話:03-5253-4111(代表)

【大学生等(第 19 期)について】

官民協働海外留学創出プロジェクトチーム

高等教育局 参事官(国際担当)付 留学生交流室 政策調査係 (内線 3360)

独立行政法人日本学生支援機構 グローバル人材育成部

グローバル人材育成企画課 (内線 4938)

電話:03-5253-4111(代表)

【取材について】

官民協働海外留学創出プロジェクトチーム

独立行政法人日本学生支援機構 グローバル人材育成部

グローバル人材育成企画課広報担当 (内線 3627)

電話:03-5253-4111(代表)

